

ベスト・プランニング

(神奈川)

環境政策応える「ヘーベルウォール工法」の家 理系男性が妻に薦める性能とコストを実現!

民

主党政権は、その政
權公約（ミニフェス
ト）で「2020年までに
温暖化ガスを25%削減（1
990年比）する」ことを
掲げている。しかし、達成
が非現実的な環境政策だと
して、否定的な意見も多い。
「難しそうとされています
が、私は不可能とは思いま
せん。むしろ50%削減も夢
ではないと考えています」

そう断言するのは、有限
会社ベスト・プランニング
の高橋幹雄社長。同社は神
奈川県全域（一部地域を除
く）と東京都町田市を施工

高橋 幹雄 社長

可能エリアとして自由設計
の家づくりを展開する、一
まいのブランドの一つである
「ヘーベルウォールテク
ノ」が、「ハウス・オブ・ザ
イヤー・イン・エレクトリ
ック2008」の優秀賞と
地域賞をダブル受賞した。
これは、主務官庁が国土
交通省である財団法人日本
地域開発センターによる表
彰制度。同法人は、経済界・
学界の代表による民間から
の発意によって、地域・都
市・環境など国土政策全般
にわたる調査研究を目的と
して1964年に設立され
た組織だ。

二酸化炭素（CO₂）削
減や省エネルギーなどの社
会的要請がある現在、生活

者と居住者の双方の視点か
ら、住宅の省エネルギーを
推進することが極めて重要
となっている。これを從来
以上に効果的に行うには、
建物とエネルギー設備機器
をセットとして捉え、住宅
のトータルとしての質の向
上を目指すことが必要だ。

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン
エレクトリック」でダブル受賞
「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン
エレクトリック」を表彰し、一
層の省エネルギー（オール
電化）住宅の発展や普及、
継続的な水準向上などを促
すのが創設の狙いだ。

06年に創設された。オー
ル電化住宅を対象として、
省エネルギーの観点でのト
ップランナーを表彰から20

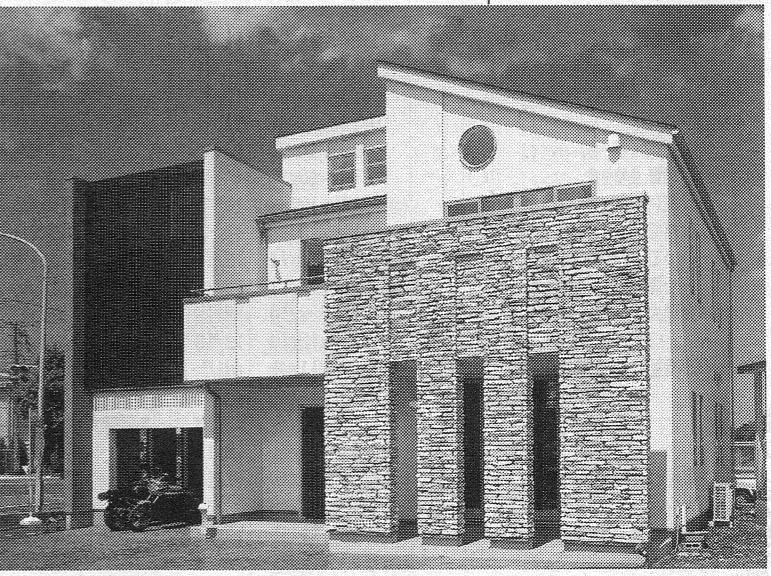
は、こうした考えから20
06年に創設された。オー
ル電化住宅を対象として、
省エネルギーの観点でのト
ップランナーを表彰し、一
層の省エネルギー（オール
電化）住宅の発展や普及、
継続的な水準向上などを促
すのが創設の狙いだ。

08年度の受賞企業は全国
から22社。大手ハウスメ
ンバーが名を連ね、供給量
実績も重点審査される中で、
唯一の有限会社がベスト・
プランニングだった。

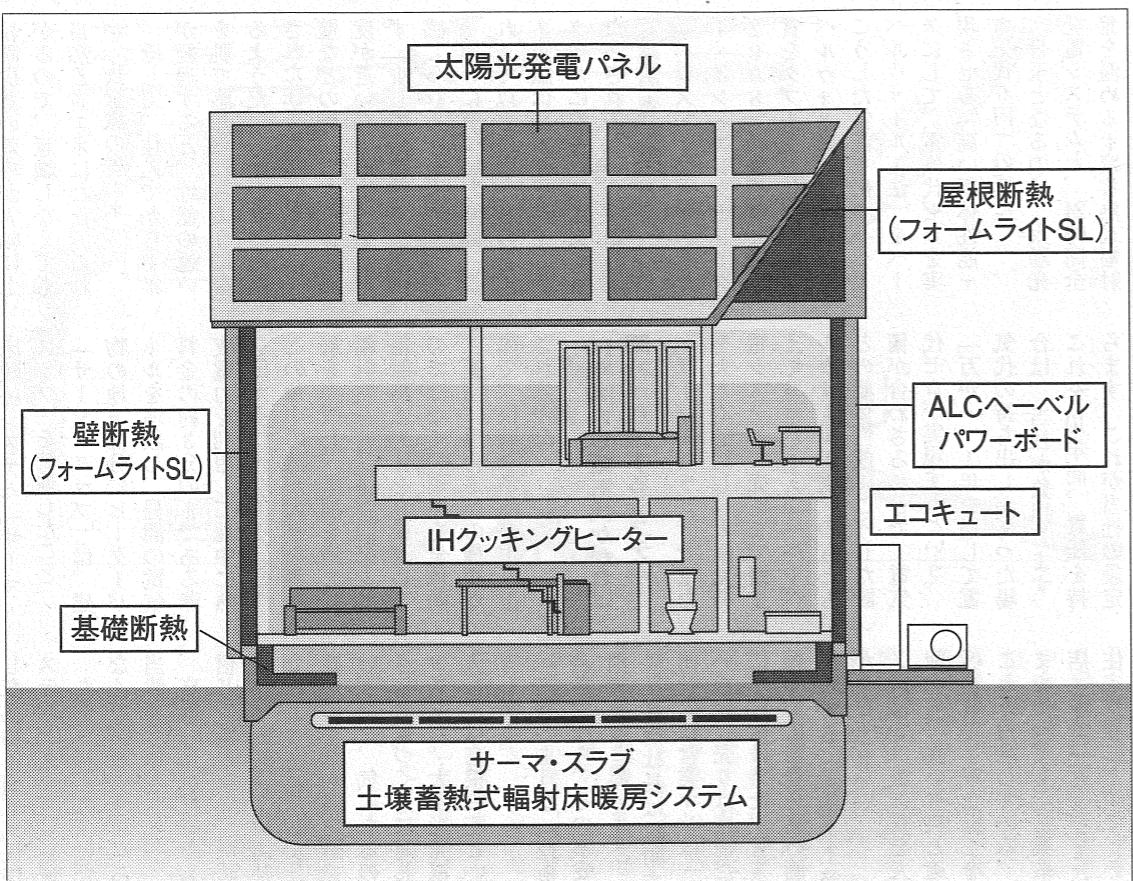
「住まいの省エネは、日本
が目指している温暖化ガス
25%削減には不可欠です。
そんな中で50%削減、それ

以上を現実にする住宅を、
同社の家づくりが評価され
たと自負しています」

と話す高橋社長。「ハウス・
オブ・ザ・イヤー・イン・
エレクトリック」がテーマ
とする「躯体と設備をセッ
ト」で考えた、トータルで
スマート（省エネルギー）



神奈川県綾瀬市にある同社モデルハウス



「ヘーベルウォールテクノ」の仕組み

国が定めたC値基準より さらに厳しい気密性能

な住宅。これをローコスト
で実現する同社の取り組み
を、高橋社長は「スマート
でキュートな家づくり」と
表現する。

同社の家づくりのベース
になるのは、4年前の05
年に同社が実用新案を取得
したオリジナル工法、「ヘ
ーベルウォール工法」。「最
高の木造住宅」を目指し、
高気密・高断熱・高遮音を
追求した工法だ。

現場発泡の吹付け断熱材
「フォームライトSL」と
外壁材「ALCヘーベルパ
ワーボード」を用いたダブ
ル断熱構造が大きな特長の
一つ。第三者機関により気
密性能を表すC値を測定し、
これが同社の定める基準で
ある1平方㍍分の平方㍍以
下でなければ引き渡さない
という徹底した姿勢を貫い
ている。

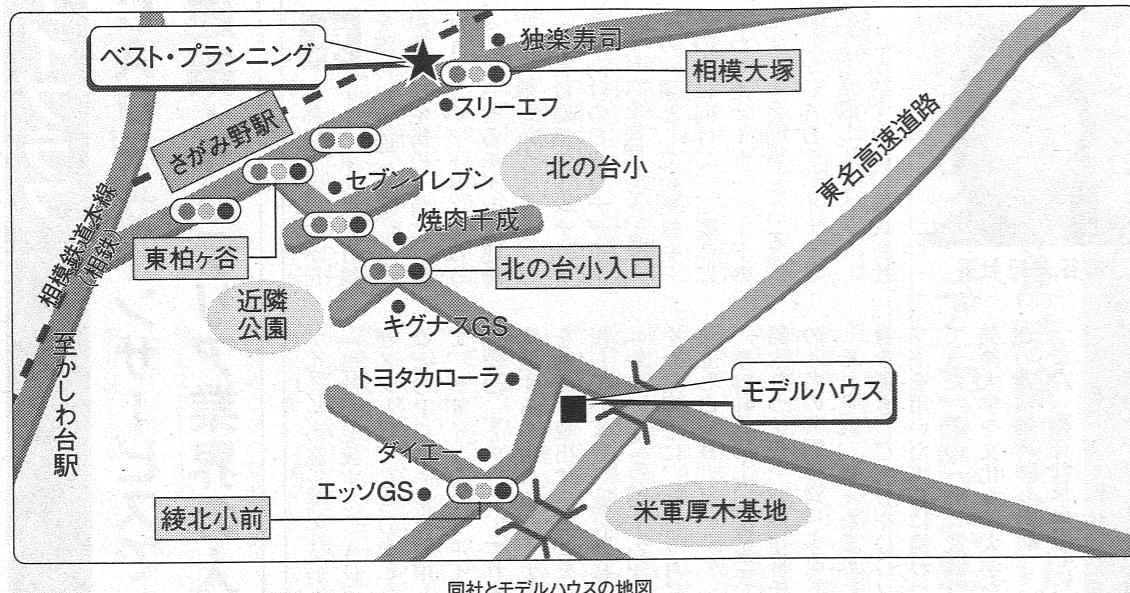
C値とは、家全体にある
余分な隙間の大きさの数値
のこと。ちなみに、国が定
める次世代省エネルギー基
準は、首都圏エリアで5平
方㍍分の平方㍍以下だ。同
社ではさらに厳しい社内規
定を設けていることになる。

徹底して隙間を無くしたと
いうことは、高い気密性。
断熱性とともに遮音性にも
繋がった。ピアノの音など
が外に漏れないという。

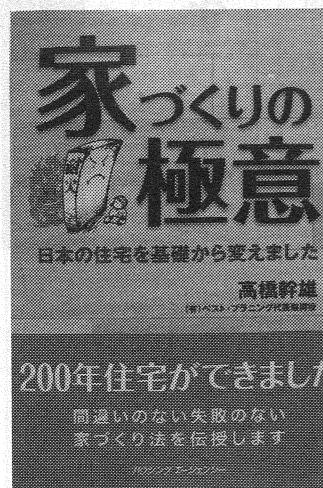
「ヘーベルウォール工法」
のもう一つの特長は、新技
術の「透湿する屋根+外壁」。
透湿とは湿度を逃がすこと
だ。透湿するルーフイング
材の連続した使用によって、
湿度を屋根から外部へ逃が
すことができるようになつた。

「奈良の正倉院の校倉造の
ように、何もしなくても木
材に良好な環境を作れるの
で、その健康状態を保つこ
とができます」（高橋社長）
こうした特長によって「ヘ
ーベルウォール工法」によ
る家は、比較的温暖な神奈
川県において、寒冷地仕様
の気密・断熱レベルを実現
している。それが「無意識
の省エネ」と「意識の省エネ」
に繋がるという。

まず住んでみると、従来
と同じライフスタイルでも



同社とモデルハウスの地図



高橋社長には著書もある。『家づくりの極意』(ハウジングエージェンシー)

「ベーベルウォール工法」。この誕生には、高橋社長のつらい記憶が背景にある。10年ほど前、イタリアで開催された住宅の展示会に参加した時のことだ。

欧米人から冷やかされた悔しさから生まれた家

「日本は車や家電は良いもののなのに、住宅はどうしても30年ほどしか持たないものしか作れないのか」と疑問を投げかけられました。すぐには理解できませんでしたが、確かに「日本の家はただの小屋で、インドの家より暑く、ロシアの家よりも寒い」と欧米人から冷やかされることもある。悔しく思いました」(高橋社長) 原因は、1950年に制

定された日本の建築基準法が定めた住宅で商売をするとのことだと気付いた。そこで高橋社長は、建築基準法の基準を一から見直し、「賢い建材」だけを使つて家づくりすることを目指した。たどり着いたのが、「ベーベルウォール工法」による家づくりだった。木造の法隆寺は1000年以上の歴史を超え、現存する。コンクリートや鉄骨では難しい。木造は本来こうした材質だ。木の健康を保つ同社の家づくりなら、「200年住宅」といった長寿命が実現できるという。

この取り組みが評価され、同社は設立から12年間、増収増益を続けている。高

橋社長には著書もある。『家づくりの極意』(ハウジングエージェンシー)
http://q-planning.co.jp

【会社データ】
本社 || 神奈川県海老名市柏ヶ谷6-23-12
設立 || 1998年5月
資本金 || 1200万円
事業内容 || 注文住宅の新築・リフォーム
建設業許可番号 || 神奈川県知事(2)第1067号
宅地建物取引業免許 || 神奈川県知事(2)第23476号

冷暖房費の効率が大幅に上がるのに、意識しなくとも自然と省エネになる。これが「無意識の省エネ」。そして、住んでから1年が経過すると、性能の違いを感じられるようだ。しっかりと断熱された住宅では、窓と床・壁などの表面温度と体感温度が近いため不快感を覚えず、少しの冷暖房で快適に感じられるからである。

違いに気づいた瞬間。これまで以上に居住者の省エネ意識は高まり、ライフスタイルにもさらに工夫がもたらされるという。これが「意識の省エネ」だ。

「ハーマ・スラブ」を装備したこと。

「ハーマ・スラブ」は、建物の地下部分にヒーターパネルを埋設し、昼間の電気料金の約3分の1である深夜電力を利用して地中に熱を伝える仕組みを持つ設備。

この地中の熱が大きな蓄熱層を形成し、床面を通して輻射熱を24時間照射する。

輻射熱は人体を直接温めるのではなく、周囲を全体的に適切に温める熱の種類なので、快適な環境が生み出されるのだ。

10年間もし電気代かかれば同社が負担するシステム

「ハーマ・スラブ」で電力を大きく節約し、太陽光発電システムで売電まで踏まえて発電をする。「ベーベルウォール工法」のもとも

との躯体性能にこうした設備が合わざることで、電気代ゼロが実現するという。

「万が一、1年を通して電気代ゼロ円」の家だ。

目玉となるのは、太陽光発電システムと、24時間全館を温める土壤蓄熱式輻射

10年間、責任を持ちます。これが当社の設定

方もある。

「当社のような『技術系工務店』なら、その不安を解消できると思います」と高橋社長は説明する。

同社には営業マンは一人もいない。売りは技術だ。逆に、技術は持たず営業力に頼つて広告費を高い価格に反映する「営業系工務店」が存在するという。

同社では広告費を大きく削つて、良い材料と適切な

労務費で丁寧な施工をする

ことを追求している。こ

までやつても「営業系工務店」よりは安く済むという。

住宅業界にとって、テレビ

C Mやチラシなどの広告費は高価なものなのだ。さらに同社では、土地を探している顧客を不動産仲介手数料ゼロでサポートしている。値引き交渉もする。「宣伝を多くしていない分、ホームページから当社を知るお客様が多いですね。傾向としては理系の一部上場

企業の男性が目立ちます」という高橋社長。コスト以上の性能を出す家として、理系の男性がホームページを読みこなしてから、妻にも薦めて選ぶという。高橋社長が「キュート」と表現するのは、妻も喜ぶ同社の価格設定のことなのだ。

同社の最大の売りである



「ハーマ・スラブ」の施工風景